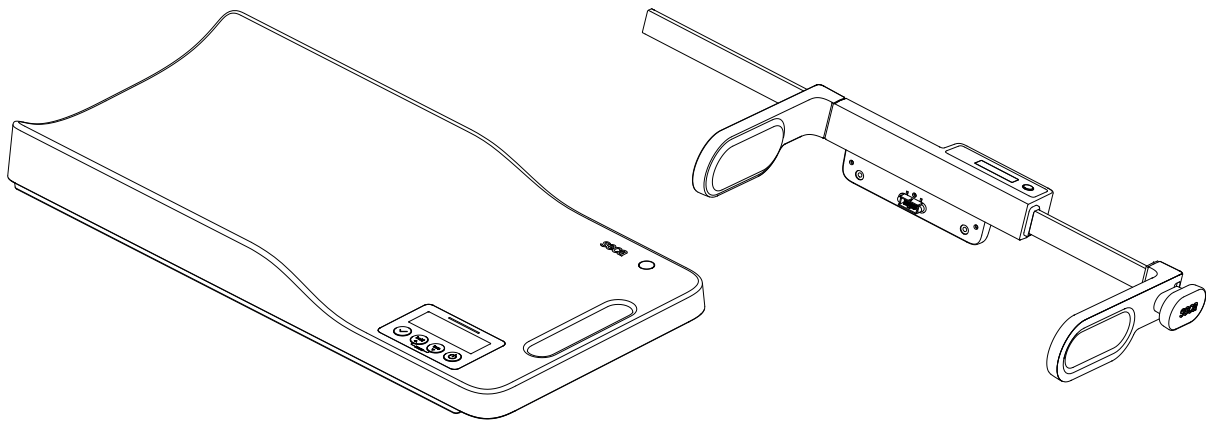


**seca 336 / 336 i**  
**seca 234 / 232 n**



# 目次

<b>1. 製品の説明</b> .....	<b>3</b>	体重計をオフにする.....	21
1.1 用途.....	3	5.2 身長測定 (別売オプション).....	21
体重計.....	3	アナログメジャーロードユニットで測	
測定ステーション.....	3	定する.....	22
1.2 機能の説明.....	3	デジタルメジャーロードユニットで測	
体重計.....	3	定する.....	22
内部インターフェースモジュール		5.3 IDをスキャンし、データをWi-Fiで転送する	
(seca 336 iのみ).....	3	(seca 336 i).....	23
身長計.....	3	5.4 その他の機能 (メニュー).....	23
USBポート (seca 336 iのみ).....	3	メニュー内を移動する.....	23
ソフトウェアseca connect 103		差異機能を使用する (bMIF).....	24
(seca 336 iの別売品).....	3	オートホールド機能のオン (AHOLD).....	24
1.3 使用者に求められる資格.....	3	シグナル音をオンにする (bEEP).....	25
管理 (seca 336 iのみ).....	3	抑制を設定する (FIL).....	25
操作.....	3	ディスプレイのバックライトの設定	
<b>2. 安全に関する情報</b> .....	<b>4</b>	(Lcd).....	25
2.1 本取扱説明書での安全上のご注意.....	4	スタンバイ時間の設定 (AOFF).....	26
2.2 基本的な安全上のご注意.....	4	デジタルメジャーロードユニット	
製品の取扱い.....	4	の補正 (LCAL).....	26
感電の回避.....	5	デジタルメジャーロードユニットの長	
負傷と感染の回避.....	5	さ単位の切替え (LUnIT).....	26
製品の破損の回避.....	5	工場設定に戻す (rSEt).....	27
測定結果の取扱い.....	6	Wi-Fi設定のリセット	
梱包材の取扱い.....	6	(rSEt) (seca 336 i).....	27
乾電池と充電式バッテリーの扱い.....	6	<b>6. 衛生管理</b> .....	<b>27</b>
<b>3. 概観</b> .....	<b>8</b>	6.1 清掃.....	28
3.1 操作部.....	8	6.2 消毒.....	28
3.2 身長計seca 234 (別売オプション) の操作部.....	9	体重計.....	28
3.3 身長計seca 232 n (別売オプション)		身長計 (ある場合).....	28
の操作部.....	10	6.3 滅菌.....	29
3.4 メニュー構造 (seca 336 i).....	11	<b>7. 機能点検</b> .....	<b>29</b>
3.5 メニュー構造 (seca 336).....	12	<b>8. こんなときはどうする?</b> .....	<b>30</b>
3.6 ディスプレイのアイコン.....	13	8.1 問題とその対処法.....	30
3.7 製品および型番プレートに記されているマ		8.2 データ転送 (seca 336 i).....	30
ーク.....	13	8.3 乾電池の交換.....	31
3.8 梱包材に表記されているマーク.....	14	<b>9. メンテナンス/再検定</b> .....	<b>31</b>
<b>4. 製品を作動可能状態にする</b> .....	<b>15</b>	9.1 メンテナンスおよび検定についての情報.....	31
4.1 同梱物 (seca 336 i).....	15	9.2 度量衡メーター内容を検証する.....	32
4.2 同梱物 (seca 336).....	15	<b>10. 技術データ</b> .....	<b>32</b>
4.3 製品を設置して水平に調整する.....	16	10.1 一般的な技術データ.....	32
4.4 電源供給の確保.....	16	10.2 計量技術データ.....	33
乾電池をセットする.....	17	10.3 技術データ、身長測定.....	34
4.5 バーコードスキャナーの接続 (seca 336 i).....	18	<b>11. オプションの別売品 (seca 336)</b> .....	<b>34</b>
4.6 Wi-Fi接続の確立 (seca 336 i).....	18	<b>12. オプションの別売品 (seca 336 i)</b> .....	<b>34</b>
製品をWi-Fiネットワークに接続する		<b>13. 交換部品 (seca 336 i)</b> .....	<b>34</b>
(WPS).....	19	<b>14. 廃棄処分</b> .....	<b>34</b>
製品をWi-Fiネットワークに接続する		14.1 製品の廃棄処分.....	34
(seca connect 103).....	19	14.2 乾電池の廃棄処分.....	35
<b>5. 操作</b> .....	<b>20</b>	<b>15. 保証について</b> .....	<b>35</b>
5.1 体重測定.....	20	<b>16. 適合宣言書</b> .....	<b>35</b>
体重測定を開始する.....	20		
追加重量を差し引く (風袋引き).....	20		
測定結果を表示し続ける (保持).....	21		

## 1. 製品の説明

### 1.1 用途

<b>体重計</b>	このデジタルベビースケール <b>seca 336/336 i</b> は各国の規定に準拠した上で、主に病院、クリニックなどでの使用を想定しています。 このベビースケールでは従来同様の体重測定や全般的栄養状態の把握ができ、診断や治療法の決定の際に担当医師をサポートします。ただし正確な診断をするには、担当医師が体重測定以外にも適切な検査を行い、それらの結果を考慮する必要があります。
<b>測定ステーション</b>	別売オプションの身長計 <b>seca 234</b> および <b>seca 232 n</b> と組み合わせることで、ベビースケール <b>seca 336/336 i</b> を測定ステーションとして使用することができます。測定ステーションでは従来同様の体重と身長測定や全般的栄養状態の把握ができ、診断や治療法の決定の際に担当医師をサポートします。ただし正確な診断を下すには、体重・身長測定以外にも担当医師が適切な検査を行い、その結果を考慮する必要があります。

### 1.2 機能の説明

<b>体重計</b>	重量認識は4個のロードセルで行います。取っ手を掴んで、運ぶことができます。
<b>内部インターフェースモジュール (seca 336 iのみ)</b>	インターフェースモジュールを使用することで、データをベビースケール <b>seca 336 i</b> からWi-Fi接続を介してソフトウェア <b>seca connect 103</b> へ送信することができます。
<b>身長計</b>	この体重計は、アナログメジャーロードユニット <b>seca 232 n</b> またはデジタルメジャーロードユニット <b>seca 234</b> と組み合わせて測定ステーションに拡張することができます。 デジタルメジャーロードユニット <b>seca 234</b> には専用ディスプレイが搭載され、プラグで体重計に接続します。測定結果は体重計に伝送された後、Wi-Fiで電子カルテシステムに送られます。
<b>USBポート (seca 336 iのみ)</b>	USBポートにバーコードスキャナー（付属していません）を接続することができます。これによって、使用者と患者をバーコードで認識し、測定結果を電子カルテシステムに割り当てることができます。
<b>ソフトウェアseca connect 103 (seca 336 iの別売品)</b>	本製品から電子カルテシステムへの接続はソフトウェア <b>seca connect 103</b> によって確立されます。

### 1.3 使用者に求められる資格

<b>管理 (seca 336 iのみ)</b>	本製品は必ず経験豊かな管理者またはSE/MEが設置し、ネットワークに組み込んでください。
<b>操作</b>	この製品の設定は、必ず医療関係の専門家が行ってください。

## 2. 安全に関する情報

### 2.1 本取扱説明書での安全上のご注意



#### 危険！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながります。



#### 警告！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながる可能性があります。



#### 注意！

危険な状況を示します。この注意を無視した場合、軽度から中程度の負傷事故につながる可能性があります。

#### 気をつけて！

製品の操作を誤っている可能性があることを表示します。この注意事項を無視した場合、製品の損傷や誤った測定結果につながる可能性があります。

#### 注意事項

この製品の使用に関する追加的な情報を含んでいます。

### 2.2 基本的な安全上のご注意

#### 製品の取扱い

- ▶ 取扱説明書に記載されている注意事項を守ってください。
- ▶ 取扱説明書は大切に保管してください。本取扱説明書は製品の一部であり、常時参照できる状態にしておいてください。



#### 危険！

##### 爆発の危険

この製品は、以下のガスが充満する環境に設置しないでください。

- 酸素
- 可燃性の麻酔ガス
- その他の発火するおそれのある物質/混合気



#### 注意！

##### 患者の身に危険、製品の破損

- ▶ 電子医療機器と接続する追加機器は、適切な IEC または ISO 規格（例えば電算処理機器には IEC 60950）に準拠していることが証明されているものでなければなりません。その他、設定はすべて、医療システム用の規格要件を満たしている必要があります（IEC 60601-1-1 または IEC 60601-1 第 3.1 版第 16 章を参照）。電子医療機器に追加機器を接続する方は、システム設定者であり、システムがそのシステムに対する規格要件に一致していることに責任を負います。これは、seca が推奨する追加機器にも適用されます。ただし各地域の法律は、上に挙げた規格要件よりも優先されることを指摘しておきます。ご不明の点がありましたら、現地の専門業者が技術サービスにご連絡ください。
- ▶ 本文書の該当する節に説明されているように、定期的にメンテナンスと検定をご依頼ください。
- ▶ 本製品は検定付ですので、精度の確認の為、各都道府県にて実施されている定期検査をご依頼下さい。
- ▶ 製品における技術的な変更は許可されていません。本製品には、使用者様をご自分でメンテナンスを行う部品は含まれていません。メンテナンスおよび修理は、必ず正規の seca サービス担当者にご依頼ください。最寄りのサービス担当者については [info@seca.co.jp](mailto:info@seca.co.jp) までお問い合わせください。
- ▶ 必ず seca の純正部品と、同じく純正の交換部品をご使用ください。その他のものを使用した場合には保証が適用されません。

**注意！**  
**患者の身に危険、誤作動**

- ▶ 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、高周波機器といった電子医療機器とは、最低でも約1メートルの距離をあけてください。
- ▶ 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、携帯電話といったHF（短波）機器とは、最低でも1メートルの距離をあけてください。
- ▶ HF機器の実際の送信能力によって、最低でも1mを超える距離が必要な場合があります。詳細は [www.seca.com](http://www.seca.com) をご覧ください。

**感電の回避****警告！**  
**感電**

- ▶ ACアダプターを使用する製品は、電源コンセントへ容易にアクセスできるように、かつ電源の遮断をすぐに実行できるように設置してください。
- ▶ お住まいの地域の電源供給がACアダプターの記載と一致していることを確認してください。
- ▶ ACアダプターに濡れた手で触れることは、かたく禁じます。
- ▶ 延長コードやマルチコンセントタップは使用しないでください。
- ▶ ケーブルが押しつぶされたり、あるいは鋭い角で損傷しないよう注意してください。
- ▶ ケーブルが、熱を持った物体に接触しないよう注意してください。
- ▶ この製品は、海拔3000mよりも高いところで使用しないでください。

**負傷と感染の回避****警告！**  
**転落による負傷**

ベビースケールは、よく高い場所に設置されます。その作業台から乳児が転落した場合、乳児が重大で取り返しのつかない、あるいは死亡原因となる怪我を負うことがあります。

- ▶ 製品がしっかりかつ水平に設置されていることを確認してください。
- ▶ 接続ケーブル（ある場合）は、使用者が足を引っかけてつまずくことがないように敷設してください。
- ▶ 乳児から常に目を離さないでください。

**警告！**  
**感染の危険**

- ▶ 相互汚染および院内感染のリスクを低減するために測定の前後は手を洗ってください。
- ▶ この製品は、本文書の該当する節で説明したように、定期的に衛生管理を行ってください。
- ▶ 患者が感染性の疾患にかかっていないことを確認してください。
- ▶ この製品に接触する可能性のある患者の身体部分に開放創や伝染性の皮膚の変容がないことを確認してください。

**製品の破損の回避****気をつけて！****製品の破損**

- ▶ 液体が製品の内部に入らないように注意してください。液体が入ると電子機器が壊れることがあります。
- ▶ ACアダプターをコンセントから抜く前に、製品の電源をオフにしてください。
- ▶ 製品をACアダプターを使って運転する場合：製品を長期間にわたって使用しないときには、ACアダプターは取り外してください。過電流や漏電により製品が破損する恐れがあります。

- ▶ 製品を乾電池または充電電池で運用する場合: 製品を長い間ご使用にならない場合は、乾電池または充電電池を取り外してください。過電流や漏電により製品が破損する恐れがあります。
- ▶ 製品を落とさないでください。
- ▶ この製品に衝撃や振動を与えないでください。
- ▶ この文書の該当する節で説明したように、定期的に機能点検を実施してください。正常に機能しない、または損傷している状態でこの製品を使用しないでください。
- ▶ この製品は直射日光にさらさないでください。また熱源のすぐ近くに置かないでください。温度が高すぎると電子機器が壊れることがあります。
- ▶ 急な温度変化も避けてください。この製品を移送し、環境の気温変化が 20°C を上回る場合には、スイッチを入れるまで最低 2 時間は製品を新しい環境になじませてください。そうしないと結露が生じ、それが電子機器を壊すことがあります。
- ▶ 本製品は、必ず規定通りの環境条件のもとでご使用ください。
- ▶ 本製品は、必ず規定通りの保存条件のもとでご保管してください。
- ▶ 必ずアクリルガラスおよびその他のデリケートな表面に適した、塩素およびアルコールを含まない消毒液を使用してください（作用物質：第四級アンモニウム化合物など）。
- ▶ クレンザーや刺激性のクリーナーは使用しないでください。
- ▶ 有機溶剤（アルコールやベンジンなど）は使用しないでください。

## 測定結果の取扱い

### 気をつけて！

#### 整合性を欠いた測定結果

- ▶ この製品による測定値を保存、再利用（seca PC ソフトウェアや電子カルテシステムなど）する前に、その測定値が妥当なものであることを確認してください。
- ▶ 測定値が seca PC ソフトウェアへ、または電子カルテシステムへ転送される場合、それを再利用する前に、その測定値が妥当なもので、本当に対象としている患者のものであることを確認してください。

## 梱包材の取扱い



### 警告！ 窒息の危険

プラスチックフィルム製の梱包材（ビニール袋）には、窒息を引き起こす危険があります。

- ▶ 梱包材は、子供の手が届かないように保管してください。
- ▶ 本来の梱包材がなくなっている場合、窒息の危険を低下させるために、使用するビニール袋には必ず安全のための穴をあけてください。なるべく再利用できる材料をご使用ください。

### 注意事項

製品納品時に使用されていた梱包剤は、後で使用できるように保管しておいてください（例えば、メンテナンスのための返送のため）。

## 乾電池と充電式バッテリーの扱い



### 警告！ 不適切な扱いによる人体の被害

乾電池や充電電池は有害な物質を含んでおり、不適切な扱いをすると激しい勢いで噴出することがあります。

- ▶ 乾電池の再充電を試みることはお止めください。
- ▶ 乾電池/充電電池を加熱してはいけません。
- ▶ 乾電池/充電電池を燃焼させてはいけません。

- ▶ 酸が漏れ出した場合には、皮膚、目、粘膜に触れないようにしてください。触れてしまった身体箇所があれば、十分に清浄な水ですすぎ流し、すぐに医師の診察を受けてください。

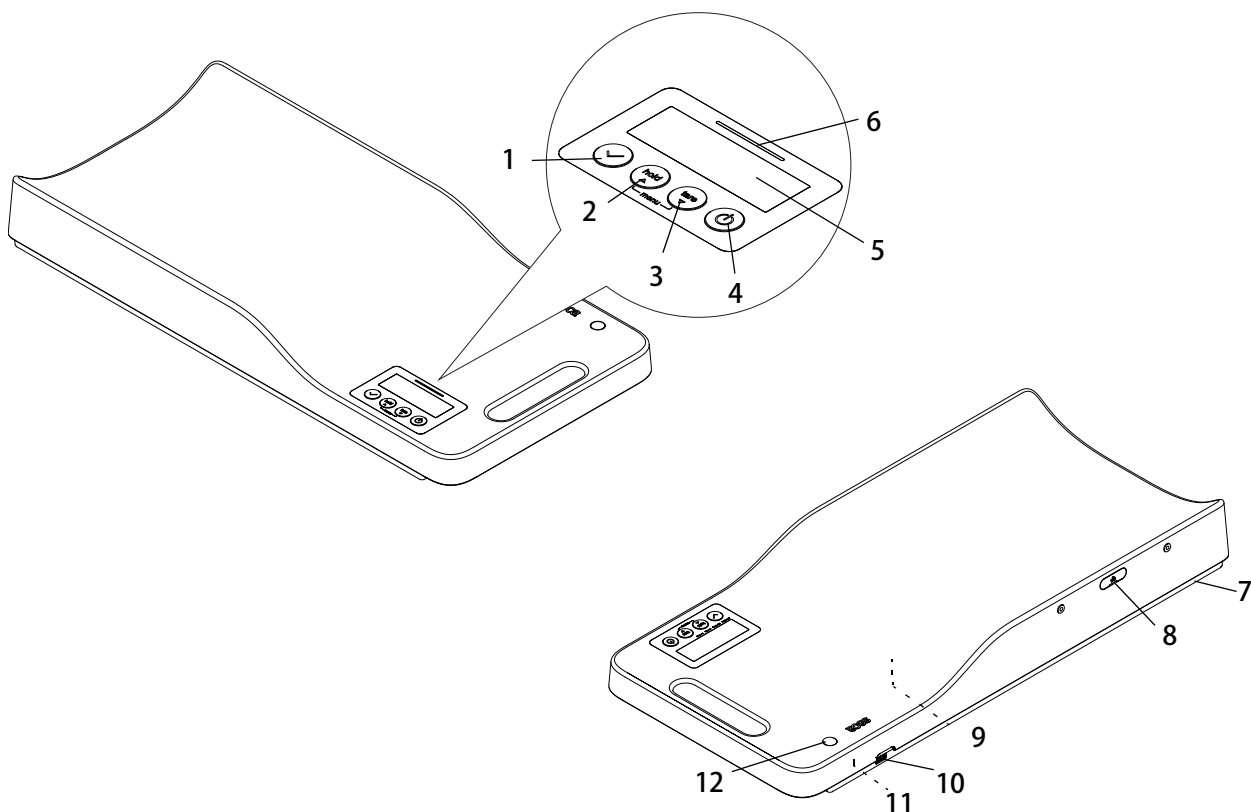
**気をつけて！**

**不適切な扱いによる製品の破損および誤作動**

- ▶ 必ず、この文書に記載されている乾電池タイプ/充電電池タイプをご使用ください。
- ▶ すべての乾電池/充電電池は必ず同時に交換してください。
- ▶ 乾電池/充電電池をショートさせてはいけません。
- ▶ 製品を長い間で使用にならない場合には、乾電池/充電電池を取り外してください。そのようにすれば酸が製品に漏れ出すということはありません。
- ▶ 酸が製品の中に流れ込んだ場合、それ以降は製品を使わないでください。製品を正規のsecaサービス担当者に検査を依頼し、必要な場合は修理を依頼してください。

### 3. 概観

#### 3.1 操作部

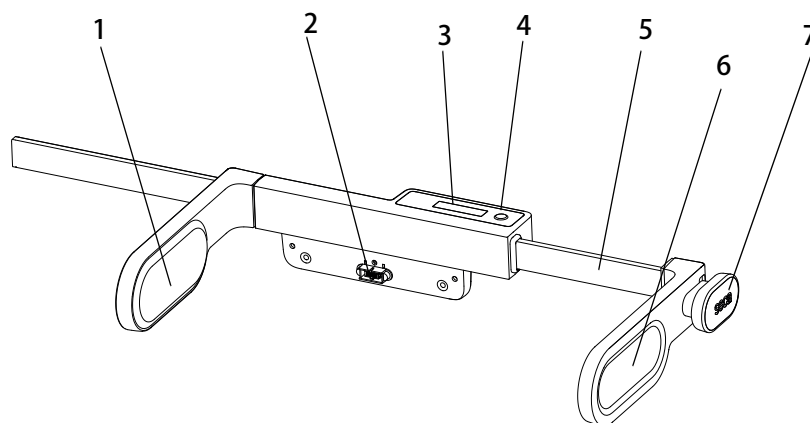


No.	操作部	機能
1		エンターボタン ・ 体重測定の間 (seca 336 iのみ) : - 測定結果をソフトウェアseca connect 103を介して電子カルテシステムに送信する ・ メニュー内: - 選択したメニューポイントの確定 - 値を設定する
2		矢印ボタン <b>保持</b> ・ 体重測定の間: - ホールド機能のオン ・ メニュー内: - 次のメニューポイントに切り替えるか、次の設定を選択する
3		矢印ボタン <b>風袋引き</b> ・ 体重測定の間: - 風袋引き機能のオン ・ メニュー内: - 前のメニューポイントに切り替えるか、前の設定を選択する
4		電源ボタン - 製品のオン/オフ
5	ディスプレイ	測定結果および体重計の設定のための表示部



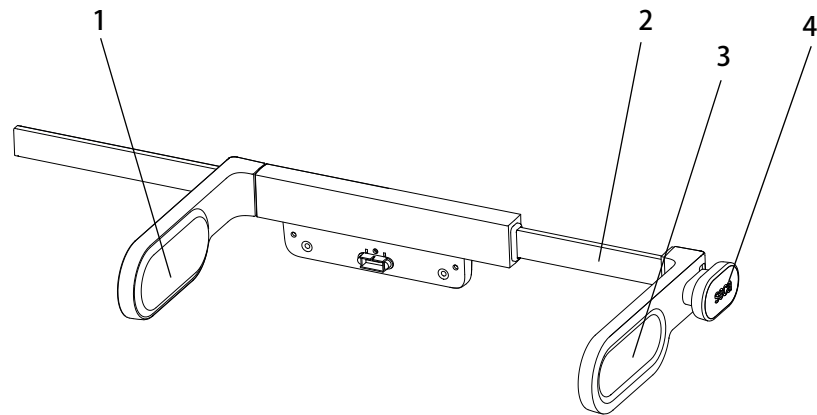
No.	操作部	機能
6	ステータスLED	データ検出およびデータ転送のステータスを表示します（seca 336 iのみ）： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑に点灯：測定プロセス中</li> <li>・ 緑に点滅（約5秒間）：測定結果を電子カルテシステムに送信中（設定に応じて異なる）。</li> <li>・ 緑に点灯（約5秒間）：測定結果の電子カルテシステムへの送信が完了（設定に応じて異なる）。</li> <li>・ 赤に点灯（約5秒間）：データ転送または測定プロセスでエラー</li> </ul> <b>注意事項：</b> ソフトウェアseca connect 103で、どのデータを検出し、転送するかを設定します。 ご質問は、管理者またはホスピタルエンジニアにお問い合わせください。
7	脚部調整ねじ	4個、正確な位置調整のために使用
8	電気接続部（保護フラップ付き）	デジタルメジャーロードユニットの接続に使用
9	電池収納スペース	単三乾電池（1.5V）を収納
10	USBポート	バーコードスキャナーの接続に使用（seca 336 iのみ）
11	電源接続部	ACアダプターの接続に使用
12	水準器	本製品が水平に設置されているか表示する（検定済みモデル）

### 3.2 身長計seca 234（別売オプション）の操作部



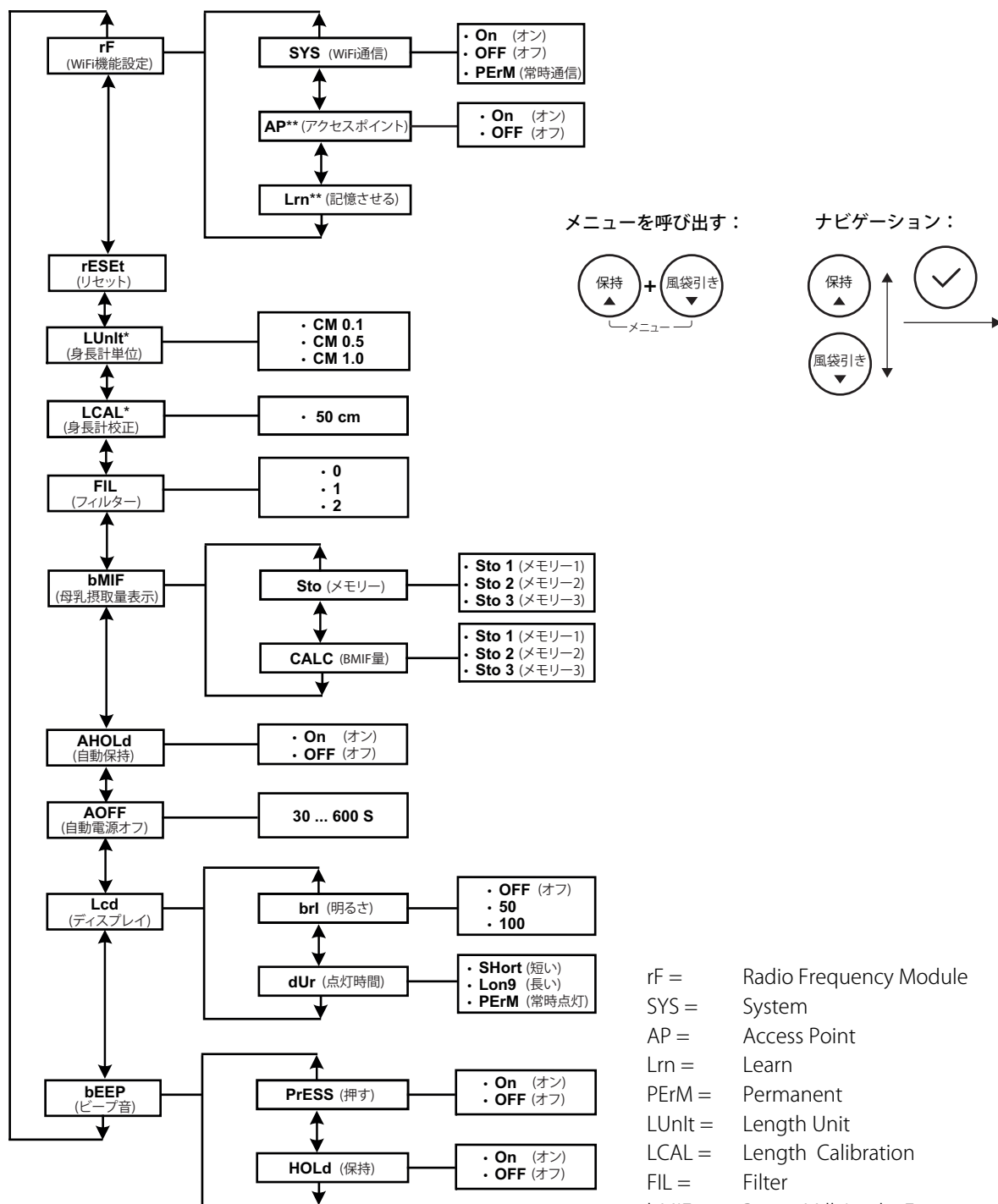
No.	操作部	機能
1	ヘッドプレート	乳児の位置決めで使用
2	プラグ	体重計への接続に使用
3	ディスプレイ	測定結果の表示部
4	保持ボタン	接続されている体重計に測定結果を送信
5	スケール付き身長計	身長測定に使用
6	フットプレート	乳児の位置決めで使用
7	ハンドル	フットプレートの移動に使用

### 3.3 身長計seca 232 n (別売オプション) の操作部



No.	操作部	機能
1	ヘッドプレート	乳児の位置決めを使用
2	スケール付き身長計	身長測定に使用
3	フットプレート	乳児の位置決めを使用
4	ハンドル	フットプレートの移動に使用

### 3.4 メニュー構造 (seca 336 i)

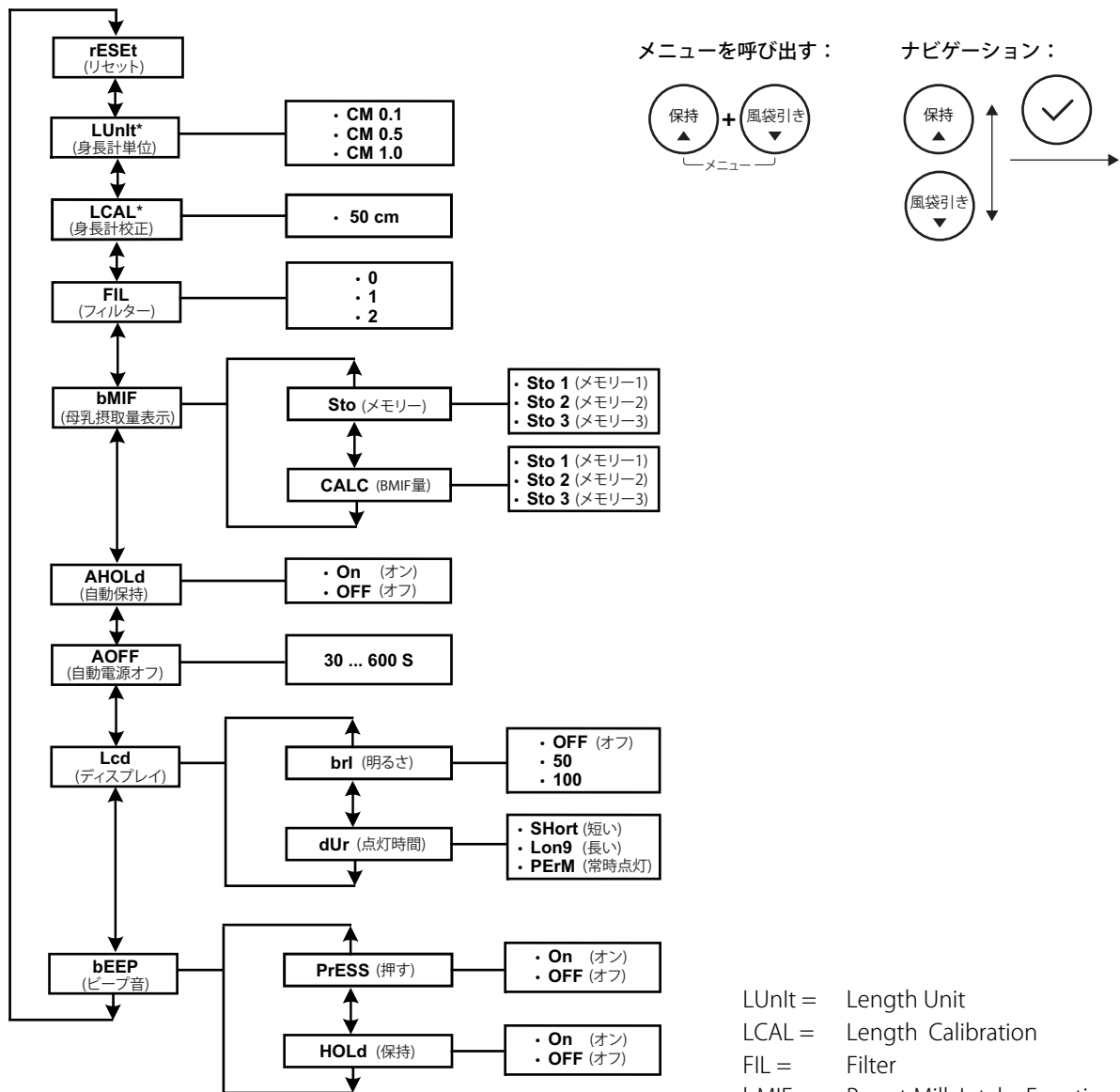


- rF = Radio Frequency Module
- SYS = System
- AP = Access Point
- Lrn = Learn
- PErM = Permanent
- LUnit = Length Unit
- LCAL = Length Calibration
- FIL = Filter
- bMIF = Breast Milk Intake Function
- Sto = Store
- CALC = Calculate
- AHOLd = Auto Hold
- AOFF = Auto OFF
- Lcd = Liquid Crystal Display
- brl = Brightness
- dUr = Duration

\* デジタルメジャーロードユニット取付時  
 \*\* 内部インターフェースモジュール有効時

17-10-07-649-016b1/06-2019S

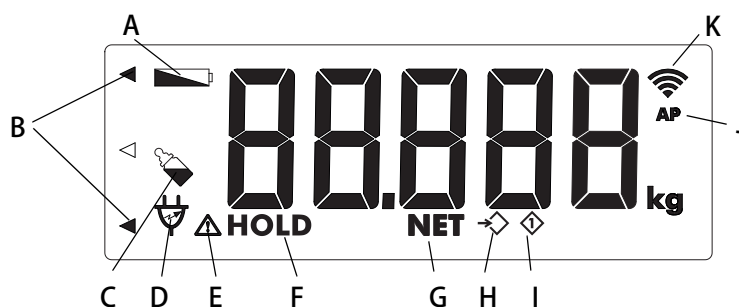
### 3.5 メニュー構造 (seca 336)



- LUnlt = Length Unit
- LCAL = Length Calibration
- FIL = Filter
- bMIF = Breast Milk Intake Function
- Sto = Store
- CALC = Calculate
- AHOLd = Auto Hold
- AOFF = Auto OFF
- Lcd = Liquid Crystal Display
- brl = Brightness
- dUr = Duration
- PErM = Permanent

\* デジタルメジャーロッドユニット取付時




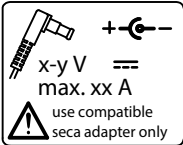


### 3.6 ディスプレイのアイコン




	シンボル	意味
A		乾電池の電圧が低下
B		点滅：メモリの選択（母乳摂取量表示（BMIF）機能）
C		差異値機能（BMIF）がオン
D		ACアダプターによる運転
E		検定対象外の機能がオンになっている
F	HOLD	ホールド機能がオン
G	NET	風袋引き機能がオン
H		メモリの選択（母乳摂取量表示（BMIF）機能）
I		測定結果をメモリ1に（母乳摂取量表示（BMIF）機能）
J	AP	アクセスポイント機能がオン（サービス機能）
K		Wi-Fi接続のステータスおよびWi-Fiネットワークの電波状況を表示（seca 336 iのみ）： <ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fiネットワークの設定時： <ul style="list-style-type: none"> <li>点滅：製品とルーターを接続準備中</li> <li>点灯：製品とルーターが接続され、Wi-Fi接続が確立されている</li> </ul> </li> <li>作動時： <ul style="list-style-type: none"> <li>点灯：バーの数はWi-Fiネットワークの電波状況を表示</li> </ul> </li> </ul>

### 3.7 製品および型番プレートに記されているマーク

テキスト/シンボル	意味
	メーカーの名称および住所、製造年月日
REF	モデル番号
SN	シリアルナンバー
GAL	値 (m/s <sup>2</sup> )（検定済みモデル） <ul style="list-style-type: none"> <li>地球上での重力加速度を示す</li> <li>所定の立地に左右される</li> </ul>
Mat.No.	バリエーション番号
ProdID	製品識別番号
MAC	MACアドレス
	取扱説明書を参照

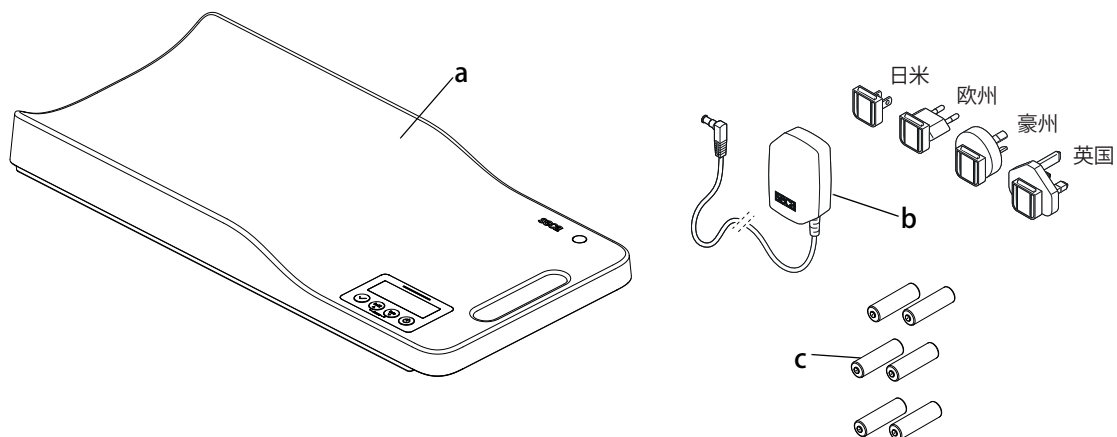
テキスト/シンボル	意味
	電子医療機器（タイプB）（ヨーロッパ国内のみ）
e	体重計の評価や検定に使用される質量値（検定済みモデル）
d	電子式体重計： 二つの連続する表示値の差異を示す値 機械式体重計： 二つの連続する目盛りの差異を示す質量値
	特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則に適合。 認証番号：206-000519
	指令2014/31/EUに準拠したクラスIIIの体重計
	電源接続ポートの型番プレート <ul style="list-style-type: none"> <li>• x-y V：必要な供給電圧</li> <li>• max xx A：最大消費電力</li> <li>• + -：電源プラグの極性に注意</li> <li>• ≡：製品は直流電流のみを使用</li> </ul>
	USBポート（内部インターフェースモジュール装備のモデル）
	製品を家庭ゴミとして廃棄しないこと

### 3.8 梱包材に表記されているマーク

	水や液体から保護すること
	必ず製品の箱に付いている矢印の向きが上になるようにする 直立状態で輸送・保管を行うこと
	取扱注意 投げたり落としたりしないこと
	輸送・保管時の最小/最大許容温度
	輸送・保管時の最小/最大許容湿度
	梱包をここから開ける
	梱包材はリサイクルプログラムで廃棄可能

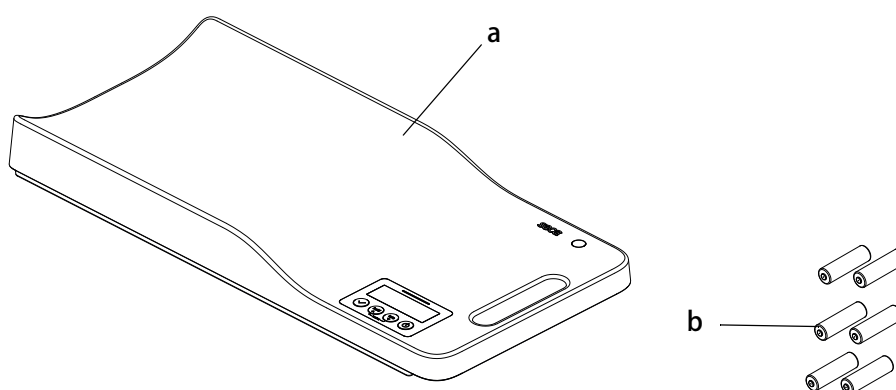
## 4. 製品を作動可能状態にする

### 4.1 同梱物 (seca 336 i)



	構成部品	個数
a	ベビースケール	1
b	アダプター付きACアダプター	1
c	単三乾電池 (1.5 V)	6
	取扱説明書 (図なし)	1

### 4.2 同梱物 (seca 336)



	構成部品	個数
a	ベビースケール	1
b	単三乾電池 (1.5 V)	6
	取扱説明書 (図なし)	1

### 4.3 製品を設置して水平に調整する

この体重計は納品時に完全に組み立てられています。



#### 注意！

##### 計量台の他物接触による誤測定

体重計がタオルなどの上に乗っていると、体重を正しく測定することができません。

- ▶ 体重計の脚部だけが床と接触するように体重計を設置してください。

1. 体重計は堅い平面上に設置するようにしてください。



#### 注意！

##### 誤った位置調整による誤測定

水準器は非常に敏感です。タオルなどの追加重量があると、体重計の調整が不正確になります。

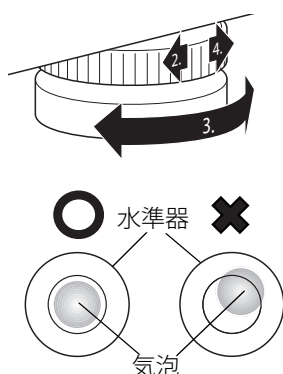
- ▶ 製品の位置を調整する場合、必ず何も載っていない状態で行ってください。

2. サムホイールを緩めます。
3. 脚部調整ネジを回して、体重計の位置を調整します。  
水準器の気泡が円のちょうど中央に来るように正確に調整してください。
4. 調整ねじを矢印方向に回して締めます。  
脚部調整ねじは、位置ずれを防止するよう設計されています。

#### 注意事項：

体重計の底の水平調整は、設置場所の変更のたびに確認し、必要に応じて修正してください。

5. 別売オプションの身長計（ある場合）を該当する取付説明書に従って取り付けます。



### 4.4 電源供給の確保

以下の使用方法では同梱の乾電池を使用します：

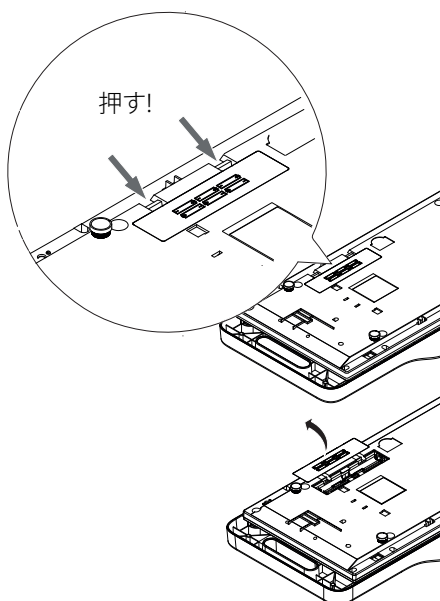
- ・ 体重計を持ち運んで使用する場合
- ・ 外部ポート（Wi-Fi、USBなど）がない、またはオフ

#### 注意事項：

USBポートまたはWi-Fi機能を使用する場合（バリエーションに応じて異なる）、製品の電力消費は大きく増加します。この場合は、同梱のACアダプターを接続して本製品を使用してください。



## 乾電池をセットする



1. 電池収納スペースを開きます。
2. 乾電池を電池収納スペースにセットします。

**注意事項：**

電池の+/-極を正しくセットしてください（電池の留め金のマーキングに注意）。ディスプレイに**bAtt**と表示されたら、いずれかの乾電池の極が逆か、乾電池が空です。乾電池を逆にセットした場合は、すぐに取り外すこと。

3. 電池収納スペースを閉じます。

## ACアダプターを接続する

以下の使用方法では同梱（seca 336 iのみ/seca 336は別売オプション）のACアダプターを使用します：

- ・ 体重計を固定の場所で使用する場合
- ・ 外部ポート（Wi-Fi、USBなど）がオン

**注意事項：**

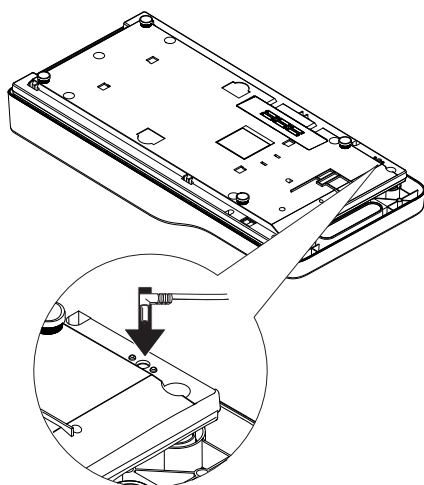
内部インターフェースモジュール非装備のバリエーション（seca 336）では、別売品としてACアダプターを入手することができます。

**警告！****不正なACアダプターによる人身傷害および製品の破損**

市販のACアダプターは、本製品に指定されている電圧より高い電圧を供給するおそれがあります。その場合、製品が過熱し、発火が生じたり、ヒューズが飛んだり、ショートが生じるおそれがあります。

- ▶ 12Vの制御出力電圧を供給するseca純正のACアダプターを必ずご使用ください。

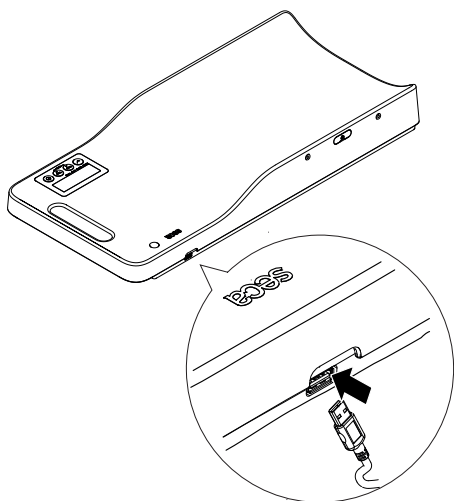
1. 電源供給に必要な製品プラグをACアダプターに差し込みます。
2. ACアダプターの電気系統のプラグを体重計の接続ジャックに差し込みます。
3. ACアダプターを電源コンセントに差し込みます。



## 4.5 バーコードスキャナーの接続 (seca 336 i)

USBポート（バリエーションによって異なる）にバーコードスキャナー（付属していません）を接続することができます。

バーコードスキャナーを使用して、患者IDやユーザーID（設定によって異なる）を読み取ることができます。



### 注意事項：

- USBポートまたはWi-Fi機能を使用する場合（バリエーションに応じて異なる）、製品の電力消費は大きく増加します。この場合は、同梱のACアダプターを接続して本製品を使用してください。
- バーコードスキャナーの許容最大消費電力に注意してください（32ページ以降の「一般的な技術データ」を参照）。
- seca推奨の二次元（QR）バーコード対応医療用スキャナーをご使用ください。弊社推奨でない機器との互換性につきましては、弊社では動作を保証致しかねます。予めご了承ください（34ページ以降の「オプションの別売品（seca 336 i）」を参照）。

- ▶ バーコードスキャナーのUSBプラグを本製品のUSBポートに差し込みます。

## 4.6 Wi-Fi接続の確立 (seca 336 i)

### Wi-Fi機能の設定

1. 電源ボタンを押します。  
ディスプレイのすべての項目が短時間表示され、その後secaの文字がディスプレイに表示されます。  
ディスプレイに0.000と表示されれば体重計は準備完了です。
2. メニューポイントrF (WiFi機能設定)を選択します（23ページ「メニュー内を移動する」を参照）。
3. 選択を確定します。
4. メニューポイントSYS (WiFi通信)を選択します。
5. 選択を確定します。  
現在の設定が表示されます。
6. ご希望の設定を選択します：

rF

545

オプション	エフェクト
On (オン)	Wi-Fi機能は、電源接続をすると自動的にオンになり、乾電池を使つての運転では自動的にオフになります。
PErM (常時通信)	Wi-Fi機能は、電源を使用した運転でも乾電池を使つての運転でもオンのままになります。
OFF (オフ)	Wi-Fi機能がオフ

7. 選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。

## 製品をWi-Fiネットワークに接続する (WPS)



ルーターにアクセスできる場合は、WPSを介して本製品をWi-Fiネットワークに接続します。

### 注意事項：

本製品がWi-Fiネットワークに接続されると、オートホールド機能が自動的にオンになります。本製品がWi-Fiネットワークに接続されている間は、オートホールド機能をオフにすることができません。

1. メニューポイント **rF** (WiFi機能設定) を選択します (23 ページ「メニュー内を移動する」を参照)。
2. Wi-Fiルーターの取扱説明書に従って、ルーターのWPS機能をオンにします。
3. メニューポイント **Lrn** (記憶させる) を選択します。  
シンボル が点滅します。  
本製品とWi-Fiネットワークのルーターの接続準備をしています。  
本製品がWi-Fiネットワークと接続されると、シンボル が点灯します。

### 注意事項：

ソフトウェア **seca connect 103** を介して測定データを電子カルテシステムに送信するには、追加の設定を行う必要があります。

- ▶ **seca connect 103** の取扱説明書に記載されている事項を守ってください。

## 製品をWi-Fiネットワークに接続する (seca connect 103)

ルーターのWPS機能へのアクセス権がない場合や複数の製品を接続したい場合は、ソフトウェア **seca connect 103** を介して本製品をWi-Fiネットワークに接続します：

### 注意事項：

本製品がWi-Fiネットワークに接続されると、オートホールド機能が自動的にオンになります。本製品がWi-Fiネットワークに接続されている間は、オートホールド機能をオフにすることができません。

1. バーコードスキャナー (付属していません) を本製品に接続します (18 ページ「バーコードスキャナーの接続 (seca 336 i)」を参照)。
2. ソフトウェアの取扱説明書に記載されているように、Wi-Fiネットワークのデータをソフトウェア **seca connect 103** に入力します。
3. ソフトウェアが生成したQRコードをスキャンします。  
シンボル が点滅します。  
Wi-Fiネットワークのネットワーク名 (SSID) とパスワードが本製品にメモリされます。  
本製品とWi-Fiネットワークのルーターの接続準備をしています。  
本製品がWi-Fiネットワークと接続されると、シンボル が点灯します。

### 注意事項：

ソフトウェア **seca connect 103** を介して測定データを電子カルテシステムに送信するには、追加の設定を行う必要があります。

- ▶ **seca connect 103** の取扱説明書に記載されている事項を守ってください。

## 5. 操作

### 5.1 体重測定

#### 体重測定を開始する



#### 警告！ 転落による負傷

ベビースケールは、よく高い場所に設置されます。その作業台から乳児が転落した場合、乳児が重大で取り返しのつかない、あるいは死亡原因となる怪我を負うことがあります。

- ▶ 製品がしっかりかつ水平に設置されていることを確認してください。
- ▶ 接続ケーブル（ある場合）は、使用者が足を引っかけてつまずくことがないように敷設してください。
- ▶ 乳児から常に目を離さないでください。



#### 注意！ 計量台の他物接触による誤測定



体重測定時に計量台が他の物に接触していたり身長計の操作をしたりすると体重測定値に影響を与え、正確な測定ができません。

- ▶ 体重を測定している間、使用者が体重計に触れていないことを確認してください。
- ▶ 体重値は必ず身長測定の前または後に読み取ってください。



#### 追加重量を差し引く（風袋引き）



1. 体重計に何も載せられていないことを確認します。
  2. 電源ボタンを押します。  
ディスプレイのすべての項目が短時間表示され、その後secaの文字がディスプレイに表示されます。  
ディスプレイに0.000と表示されれば体重計は準備完了です。  
体重計がACアダプターで運用されている場合、という表示マークが表示されます。  
デジタルメジャーロードユニットが体重計に接続されている場合は、デジタルメジャーロードユニットが自動的にオンになります（22ページ以降の「デジタルメジャーロードユニットで測定する」を参照）。
- 注意事項：**  
オートホールド機能がオンになっていると、体重値は自動的に表示されたままになります（24ページ「オートホールド機能のオン（AHOLD）」を参照）。
3. 乳児を体重計の上に載せます。
  4. 矢印ボタン**保持**を短く押します。  
体重値が表示されたままになります。シンボル（測定値は検定対象外）およびメッセージ**HOLD**（保持）が表示されます。
  5. 測定結果を読み取ります。

風袋引き機能を使うと、追加重量（例えば、はかりの床に敷くタオルや敷物）が体重測定結果に反映されることを防ぎます。



#### 注意！ 計量台の他物接触による誤測定

大きなタオルなどの追加重量が、体重計を設置した床面に触れていると体重を正確に測定することができません。

- ▶ 追加重量が体重計の測定面にのみかかっていることを確認してください。

1. 追加重量を体重計の上に載せます。
2. **NET**というメッセージが表示されるまで、矢印ボタン**風袋引き**を押し続けます。
3. その表示が点滅しなくなり、代わりに0.000が表示されるまで待ちます。



### 測定結果を表示し続ける (保持)



### 体重計をオフにする



- 乳児を体重計の上に載せます。
- 測定結果を読み取ります。  
追加重量が自動的に差し引かれています。
- 風袋引き機能をオフにするには、NETというメッセージが表示されなくなるまで矢印ボタン**風袋引き**を押すか、体重計のスイッチをオフにします。

#### 注意事項：

最大表示可能体重は、既に載せられている物の重さ分少なくなります。

ホールド機能をオンにすると、体重計から降りても体重値が表示され続けます。ですからまだ体重値を記録していなくても乳児をケアすることができます。

#### 注意事項：

オートホールド機能がオンになっていると、体重値は自動的に表示されたままになります (24 ページ「オートホールド機能のオン (AHOLD)」を参照)。

- 乳児を体重計の上に載せます。
- 矢印ボタン**保持**を短く押します。  
体重値が安定するまで表示が点滅します。安定すると体重値が表示されたままになります。シンボル▲ (測定値は検定対象外) およびメッセージHOLD (保持)が表示されます。
- ホールド機能をオフにするには矢印ボタン**保持**を短く押します。  
シンボル▲およびメッセージHOLD (保持)は表示されなくなります。0.000が表示されます。必要に応じて、体重測定を続行できます。

- ▶ 電源ボタンを押します。

#### 注意事項：

乾電池を使つての運転では、体重計は60秒間スタンバイ状態になります。そのスタンバイ時間の間に何も入力されなければ、体重計が自動的にオフになります。スタンバイ時間は設定することができます (26 ページ「スタンバイ時間の設定 (AOFF)」を参照)。

## 5.2 身長測定 (別売オプション)



### 警告！ 転落による負傷

ベビースケールは、よく高い場所に設置されます。その作業台から乳児が転落した場合、乳児が重大で取り返しのつかない、あるいは死亡原因となる怪我を負うことがあります。

- ▶ 製品がしっかりかつ水平に設置されていることを確認してください。
- ▶ 接続ケーブル (ある場合) は、使用者が足を引っかけてつまづくことがないように敷設してください。
- ▶ 乳児から常に目を離さないでください。

### 注意！

#### 挟まれて怪我をする危険

乳児の手足が身長計の可動部品に挟まれるおそれがあります。

- ▶ 身長計をスライドさせるときには、乳児の手足が身長計に載っていないか注意してください。



### 注意！ 計量台の他物接触による誤測定

体重測定時に計量台が他の物に接触していたり身長計の操作をしたりすると体重測定値に影響を与え、正確な測定ができません。

- ▶ 体重を測定している間、使用者が体重計に触れていないことを確認してください。

- ▶ 体重値は必ず身長測定の前または後に読み取ってください。

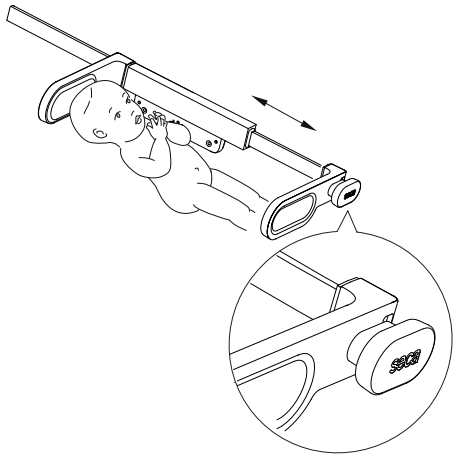
**気をつけて！**

**不適切な扱いによる製品の破損**

身長計を取っ手のように掴んで運ばないでください。高い負荷で身長計は変形したり、動きにくくなったり、体重計から取れるおそれがあります。

- ▶ 体重計を運ぶときは、必ず体重計の取っ手を掴んで運んでください。

**アナログメジャーロッドユニットで測定する**



別売オプションのアナログメジャーロッドユニット **seca 232 n** を使って身長を測定することができます。

1. 頭が身長計のヘッドプレートに触れるように乳児を体重計に載せます。
2. 身長計のハンドルを握みます。
3. フットプレートを乳児の足まで移動させます。

**注意事項：**

乳児の脚が伸びていることを確認します。

4. 測定結果を読み取ります。

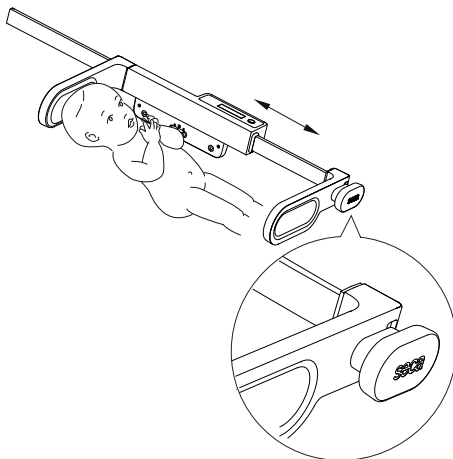
**気をつけて！**

**データの損失**

アナログで測定された値は本製品には入力されません。

- ▶ データの損失や測定結果の不適切な割当てを防ぐため、アナログで測定された値は患者カルテに直接記入してください。

**デジタルメジャーロッドユニットで測定する**



別売オプションの身長計 **seca 234** を使って身長を測定し、体重計に転送することができます。

体重計に内部インターフェースモジュールが搭載されている場合は、身長と体重をソフトウェア **seca connect 103** を介して電子カルテシステムへ送信することができます。

1. 頭が身長計のヘッドプレートに触れるように乳児を体重計に載せます。
2. 身長計のフットプレートにあるハンドルを握みます。
3. フットプレートを乳児の足まで移動させます。

**注意事項：**

乳児の脚が伸びていることを確認します。

4. 測定値が身長計のディスプレイに表示されます。
5. 身長計のボタン **保持** を押します。  
身長値が体重計に転送されます。
6. 測定値をソフトウェア **seca connect 103** を介して電子カルテシステムに送信するには、23 ページ以降の「IDをスキャンし、データをWi-Fiで転送する (seca 336 i)」に記載されている手順を行います。

## 5.3 IDをスキャンし、データをWi-Fiで転送する (seca 336 i)

本製品の内部インターフェースモジュールが、ソフトウェア **seca connect 103** を介して体重計と電子カルテシステムをワイヤレスで接続します。

バーコードスキャナーで患者IDおよび/またはユーザーIDを検出することができます。Wi-Fi接続により、測定結果がソフトウェア **seca connect 103** を介して電子患者カルテに転送されます。

この機能を使用するには、以下の前提条件が満たされている必要があります：

- 本製品のWi-Fi機能がオン
- 製品がソフトウェア **seca connect 103** を介して電子カルテシステムに接続されている
- バーコードスキャナー（付属していません）が本製品に接続されている

測定プロセスには以下のステップがあります：

- バーコードスキャナーでIDを検出する
- 体重値および/または身長値を測定する
- 測定結果をソフトウェア **seca connect 103** に転送する

### 注意事項：

- 測定プロセスは個別に設定することができます。ソフトウェア **seca connect 103** で行った設定に応じて、該当するオプションが有効になります。

- ▶ **seca connect 103** の取扱説明書に記載されている事項を守ってください。
- ▶ 管理者またはホスピタルエンジニアにお問い合わせください。

## 5.4 その他の機能 (メニュー)

この体重計のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。体重計を使用条件に最もよく合うように設定できます。

メニュー構造の一覧は11ページ「メニュー構造 (seca 336 i)」および12ページ「メニュー構造 (seca 336)」に記載されています。

### メニュー内を移動する



1. 体重計をオンにします。
2. 両方の矢印ボタンを同時に押します。  
最後に選択したメニューポイントがディスプレイに表示されます。
3. 矢印ボタンを、目的のメニューポイントがディスプレイに表示されるまで数回押します。
4. エンターボタンで選択を確定します。  
メニューポイントまたはサブメニューの現在の設定が表示されます。
5. 設定を変更したり、他のサブメニューを呼び出すには、目的の設定が表示されるまで矢印ボタンを何度も押します。
6. エンターキーでその設定を確定します。  
メニューは自動的に終了します。
7. その他の設定を行うには、メニューを再度呼び出し、すでに説明した方法で作業を進めます。

### 注意事項：

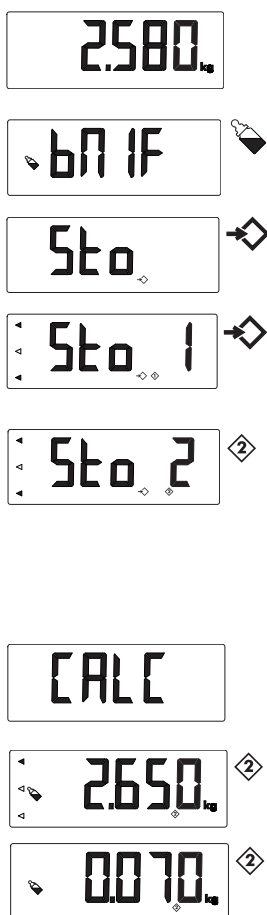
数秒間ボタンが押されないままだとメニューは自動的に終了します。

## 差異機能を使用する (bMIF)

母乳摂取量表示 (BMIF) 機能を使用すると、乳児が一度の食事で摂取した母乳の量を測定できます。それにはまず現在の体重を記録します。食事の後、記録した体重を再び呼び出し、乳児の体重をもう一度測定します。体重計はその差異、つまり摂取した食べ物の量を算定します。

### 注意事項：

- 体重の差異は、Wi-Fiによるデータ転送では転送されません。
- 母乳摂取量表示 (BMIF) 機能がオンの場合、測定値はWi-Fiで送信できません。測定値をWi-Fiで送信したい場合は、母乳摂取量表示 (BMIF) 機能がオフになっていることを確認してください (30 ページ「データ転送 (seca 336 i)」を参照)。



1. 体重計をオンにします。
2. 食事前の乳児を体重計の上に載せます。  
現在の体重が表示されます。
3. メニューポイント**bMIF** (母乳摂取量表示)を選択します。  
母乳摂取量表示 (BMIF) 機能のシンボルが表示されます。
4. 選択を確定します。
5. メニューポイント**Sto** (メモリー)を選択します。  
シンボル が表示されます。
6. 選択を確定します。  
**Sto 1**が表示されます。  
シンボル が表示されます。  
ディスプレイの矢印が点滅します。
7. 3つのメモリから1つを選択します (ここでは2)。
8. 選択を確定します。  
現在の体重値が記録されます。
9. 食事後の乳児を体重計の上に再び載せます。
10. メニューポイント**bMIF** (母乳摂取量表示)を選択します。
11. 選択を確定します。
12. メニューポイント**CALC** (BMIF量)を選択します。
13. 選択を確定します。
14. その乳児の体重を最初に記録したメモリを選択します。  
ディスプレイの矢印が点滅します。
15. 選択を確定します。  
体重の差異、つまり摂取した食べ物の量が表示されます。
16. この機能をオフにするには、メニューポイント**bMIF** (母乳摂取量表示)をもう一度選択します。
17. 選択を確定します。  
機能がオフになりました。  
メニューは自動的に終了します。

## オートホールド機能のオン (AHOLD)

オートホールド機能をオンにすると、体重測定を行ったときの測定結果は体重計に重さがかからなくなっても表示され続けます。ここでは、体重測定を行うたびにホールド機能を手でオンにする必要がありません。

### 注意事項：

- モデルによっては、この機能が工場出荷時にオンになっていることがあります。ご希望に応じて、この機能をオフにすることができます。
- 本製品がWi-Fiネットワークに接続されると、オートホールド機能が自動的にオンになります。本製品がWi-Fiネットワークに接続されている間は、オートホールド機能をオフにすることができません (18ページ以降の「Wi-Fi接続の確立 (seca 336 i)」を参照)。



1. メニューポイント**AHOLD** (自動保持)を選択します。



On

## シグナル音をオンにする (bEEP)

bEEP

PrESS

On

2. 選択を確定します。  
現在の設定が表示されます。
3. ご希望の設定を選択します：
  - On (オン)
  - OFF (オフ)
4. 選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。

ボタンを押した時と体重値が安定した時にシグナル音を鳴らすかどうか設定することができます。後者の場合は、ホールド/オートホールド機能とも共通で設定されます。

## 注意事項：

「体重値が安定した時点でシグナル音を鳴らす」機能は、工場出荷時にオンになっています。希望によりこの機能をオフにすることができます。

1. メニューポイント**bEEP** (ビープ音)を選択します。
2. 選択を確定します。
3. メニューポイントを1つ選択してください：
  - **PrESS** (押す)：ボタンを押すとシグナル音が鳴る
  - **HOLD** (保持)：体重値が安定するとシグナル音が鳴る
4. 選択を確定します。  
現在の設定が表示されます。
5. ご希望の設定を選択します：
  - On (オン)
  - OFF (オフ)
6. 選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。
7. 2つ目の機能に関してもシグナル音をオンにしたい場合は、この手順を繰り返してください。

## 抑制を設定する (FIL)

FIL

FIL 0

抑制により、体重測定の際のノイズ（例えば、患者の動きによるそれ）を減らすことができます。

1. メニューポイント**FIL** (フィルター)を選択します。
2. 選択を確定します。  
現在の設定が表示されます。
3. 抑制レベルを選択します。
  - 0：低い抑制
  - 1：中程度の抑制
  - 2：高い抑制
4. 選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。

## ディスプレイのバックライトの設定 (Lcd)

Lcd

dUr

br l

ディスプレイのバックライトの継続時間と明るさを変更することができます。

1. メニューポイント**Lcd** (ディスプレイ)を選択します。
2. 選択を確定します。
3. メニューポイントを1つ選択してください：
  - **dUr** (点灯時間)
  - **brl** (明るさ)
4. 選択を確定します。  
現在の設定が表示されます。

5. ご希望の設定を選択します：

機能	設定
dUr (点灯時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SHort (短い) (約15秒)</li> <li>• Lon9 (長い) (約45秒)</li> <li>• PErM (常時点灯)</li> </ul>
brl (明るさ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 50 (50%)</li> <li>• 100 (100%)</li> <li>• OFF (オフ)</li> </ul>

6. 選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。
7. 二つ目の機能に対しても設定を行いたい場合には、この手続きを繰り返してください。

### スタンバイ時間の設定 (AOFF)

乾電池を使つての運転では、体重計は60秒間スタンバイ状態になります (工場設定)。そのスタンバイ時間の間に何も入力されなければ、体重計が自動的にオフになります。測定結果は削除されます。スタンバイ時間は設定することができます：

機能	設定
工場設定	60秒
設定間隔	30秒
最短スタンバイ時間	30秒
最長スタンバイ時間	600秒 (10分)

スタンバイ時間を設定するには、次の手順に従ってください：

1. メニューポイント **AOFF** (自動電源オフ) を選択します。
2. 選択を確定します。  
現在設定されている時間が表示されます (ここでは600秒)。
3. 希望の時間を選択します：
  - ▶ 値を大きくする：矢印ボタン **保持** を押す
  - ▶ 値を小さくする：矢印ボタン **風袋引き** を押す
4. 選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。

600 5



### デジタルメジャーロッドユニットの補正 (LCAL)

身長計のディスプレイに表示された値と身長計のスケール上の値が異なる場合は身長計を校正します：

1. 身長計を手動で50 cmにします。
2. 身長計のディスプレイに表示された値が異なるか比べます。
3. ディスプレイの値が異なる場合は、メニューポイント **LCAL** (身長計校正) を選択します。
4. 選択を確定します。  
校正長さ50 cmが表示されます。
5. 選択を確定します。  
身長計は校正されました。  
メニューは自動的に終了します。

### デジタルメジャーロッドユニットの長さ単位の切替え (LUnit)

どの目盛りで測定した長さを表示するか設定することができます。

LUnit

CM 05

1. メニューポイント **LUnit** (身長計単位) を選択します。
2. 選択を確定します。  
現在の設定が表示されます。

3. 希望の設定を選択します：
  - 0.1 cm
  - 0.5 cm
  - 1 cm
4. 選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。

### 工場設定に戻す (rESEt)

以下の機能は、工場出荷時の設定に戻すことができます：

機能	工場設定
長さ単位	0.1 cm
オートホールド機能 (AHOLd (自動保持))	モデルごとに異なる
シグナル音 (PrESS (押す))	OFF (オフ)
シグナル音 (HOLd (保持))	On (オン)
抑制 (FIL (フィルター))	OFF (オフ)
自動電源オフまでのスタンバイ時間 (AOFF (自動電源オフ))	60秒



1. メニューポイントrESEt (リセット)を選択します。
2. 選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。
3. 体重計の電源をオフにします。  
工場出荷時の設定が復元され、体重計を再びオンにすればその設定を使用できます。

#### 注意事項：

工場設定に戻しても、Wi-Fi設定は保持されます。Wi-Fi設定をリセットするには、27 ページ「Wi-Fi設定のリセット (rESEt) (seca 336 i)」の手順に従ってください。

### Wi-Fi設定のリセット (rESEt) (seca 336 i)

Wi-Fi設定をリセットすると、以下の情報が削除されます：

- ネットワーク名 (SSID)
- ネットワークコード

#### 注意事項：

Wi-Fi設定をリセットすると、体重計も自動的に工場設定に戻ります。

1. メニューポイントrESEt (リセット)を選択します。
2. シグナル音が鳴るまでエンターボタンを押します。  
Wi-Fi設定がリセットされました。
3. 19 ページ「製品をWi-Fiネットワークに接続する (WPS)」または19 ページ「製品をWi-Fiネットワークに接続する (seca connect 103)」に従い、新しいWi-Fi接続を設定します。



## 6. 衛生管理



#### 警告！ 感電

この製品は、電源ボタンが押されると、たとえディスプレイが消えていても、電気が流れています。液状のクリーナーなどをご使用になる場合、感電する可能性があります。

- ▶ 衛生管理を実施する前は、必ず製品ディスプレイ横にある電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
- ▶ 衛生管理を実施する前は、必ず AC アダプターを取り外してください。

- ▶ 衛生管理を実施する前は、必ず充電電池を本製品から取り外してください（それが存在し、技術的に取外しが想定されている場合に限る）。
- ▶ 液体が製品に入り込まないようにしてください。

**気をつけて！**

**製品の破損**

不適切な洗剤および消毒剤は、製品のデリケートな表面を損傷する可能性があります。

- ▶ 必ずアクリルガラスおよびその他のデリケートな表面に適した、塩素およびアルコールを含まない消毒液を使用してください（作用物質：第四級アンモニウム化合物など）。
- ▶ クレンザーや刺激性のクリーナーは使用しないでください。
- ▶ 有機溶剤（アルコールやベンジンなど）は使用しないでください。

## 6.1 清掃

- ▶ 製品の表面は必要に応じて、マイルドな石鹼液で湿らせた柔らかい布で清掃してください。

## 6.2 消毒

**体重計**

1. 使用する消毒剤が、敏感な表面やアクリルガラスに適しているかどうか確認してください（作用物質：第四級アンモニウム化合物など）。
2. 消毒液の使用説明書を参照してください。
3. 製品を消毒します：
  - ▶ 柔らかい布を消毒剤で湿らせ、その布で製品の表面を清掃してください。
  - ▶ 消毒のタイミングに注意してください（表を参照）。

消毒するタイミング	構成部品
各測定前	くぼみ
各測定後	くぼみ
必要に応じて	表示部、操作部、筐体

**身長計（ある場合）**

1. 使用する消毒剤が、敏感な表面やアクリルガラスに適しているかどうか確認してください（作用物質：第四級アンモニウム化合物など）。
2. 消毒剤の使用説明書を参照してください。
3. 製品を消毒します：
  - ▶ 柔らかい布を消毒剤で湿らせ、その布で製品の表面を清掃してください。
  - ▶ 消毒のタイミングに注意してください（表を参照）。

消毒するタイミング	対象
各測定前	ヘッドプレート、フットプレート
各測定後	ヘッドプレート、フットプレート
必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 操作部</li> <li>・ 筐体</li> <li>・ スケール付き身長計</li> </ul>

## 6.3 滅菌

製品の滅菌は行わないでください。

## 7. 機能点検

- ▶ 製品の使用前には必ず機能点検を行ってください。

完全な機能点検には以下が含まれます。

- 機械的損傷の目視検査
- 製品の調整の検査
- 表示部の目視検査および機能検査
- 「概観」の節で説明されている全操作部の機能検査
- オプション・アクセサリーの機能検査

機能検査でエラーや異常が発見された場合は、まずはこの文書の「こんなときはどうする？」の節をたよりにそのエラーに対処してください。


### 注意！ 人身傷害

機能検査でエラーや異常が発見され、それを「こんなときはどうする？」の節をたよりにしても解決できなかった場合、それ以降、製品は使用しないでください。

- ▶ 製品の修理は seca サービスまたは正規のサービス担当者に依頼してください。
- ▶ この文書の「メンテナンス / 検定」の節に留意してください。

## 8. こんなときはどうする？

### 8.1 問題とその対処法

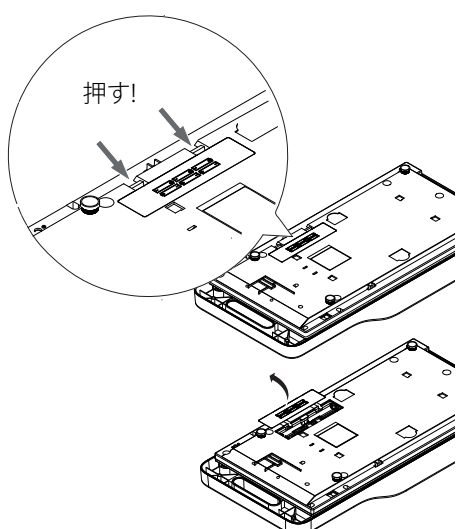
トラブル	原因 / 対処法
人や物を載せても体重が表示されない。	製品に電源が供給されていない。 - 体重計のスイッチがオンになっているか確認してください - 乾電池がセットされているか確認してください（製品を乾電池を使って運転する場合）。 - ACアダプターを確認（製品をACアダプターを使って運転する場合）
体重測定の前に0.000が表示されない。	製品の電源をオンにする前に、重みがかけていた。 - 体重計に載っているものを降ろしてください。 - 体重計を再起動してください
特定の項目が常に表示されている、またはまったく表示されない。	該当する箇所に何らかの故障があります。 - secaサービスに連絡する
 が表示されている。	乾電池の電圧が低下している。 - 乾電池を交換してください
bAttが表示されている。	電池が切れている。 - 乾電池を交換してください
StOPが表示されている。	最大測定重量を超えています。 - 体重計に載っているものを降ろしてください。
tEMPが表示されている。	本製品の周囲の温度が高すぎ、あるいは低すぎる。 - 製品を周囲の温度が+10℃～+40℃の場所に設置してください。 - 本製品が周囲の温度になじむまで約15分待ちます。
Er:[No.]:11が表示されている。	体重計に重すぎるものが載せられているか、かたよった場所に重さがかかっています。 - 体重計に載っているものを降ろすか、均等に体重がかかるように配置してください。 - 体重計を再スタートさせます。 - secaサービスにご連絡ください
Er:[No.]:12が表示されている。	体重計に重いものが載せられた状態でスイッチがオンになりました。 - 体重計に載っているものを降ろしてください。 - 体重計を再スタートさせます。
Er:[No.]:16が表示されている。	体重計がぐらついてゼロ値を測定できませんでした。 - 体重計を再スタートさせます。
Er:[No.]:32が表示されている。	内部の通信エラーが発生した。 - 体重計を再スタートさせます。 - secaサービスにご連絡ください

### 8.2 データ転送 (seca 336 i)

トラブル	原因 / 対処法
ステータスLEDが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fi機能がオフになっている - Wi-Fi機能をオンにします</li> <li>ステータスLEDが故障している。 - 管理者またはホスピタルエンジニアにお問い合わせください - secaサービスにご連絡ください</li> </ul>
メニューrFに項目SYSしか表示されない。	Wi-Fi機能がオフにされました。 - Wi-Fi機能をオンにします
メニューを呼び出した後、項目rFが表示されない。	内部インターフェースモジュールが故障している。 - secaサービスにご連絡ください
Wi-Fi機能をオンにするとnoChGが表示される。	乾電池を使っての運転で、体重計のメニューrF (Wi-Fi機能設定)SYS (Wi-Fi通信)オプションOn (オン)が選択されている。 - オプションPErM (常時通信)を選択します - ACアダプターを使用します (推奨)

ステータスLEDが赤で点灯し、測定結果が表示される。	データ転送中にエラーが発生した。 - 乳児を体重計から降ろし、ステータスLEDが消えるまで待ちます - 測定プロセスを再度行います - 引き続き問題が発生する場合は、管理者またはホスピタルエンジニアにお問い合わせください
ステータスLEDが赤で点灯し、エラーコード (Er:8:[No.]) が表示される。	測定プロセス中またはデータ転送中にエラーが発生した。 - 管理者またはホスピタルエンジニアにお問い合わせください
...Er:8:94が表示される。	測定プロセス中にエラーが発生した：IDが不適切なタイミングでスキャンされた。 - 測定プロセスを中断します - 測定プロセスを再度行い、決められた手順を守ります - 引き続き問題が発生する場合は、管理者またはホスピタルエンジニアにお問い合わせください
...Er:8:95が表示される。	ハードウェアエラー - 管理者またはホスピタルエンジニアにお問い合わせください - secaサービスにご連絡ください
Id:Erが表示されている。	ユーザーIDまたは患者IDが電子カルテシステムで見つかりません。 - ユーザーおよび患者のバーコードを再度スキャンします - 引き続き問題が発生する場合は、管理者またはホスピタルエンジニアにお問い合わせください
エンターボタンを押すと、Er:[No.]:71が表示される。	データ転送ができません。Wi-Fi機能がオフになっています。 - Wi-Fi機能をオンにします (18 ページ「Wi-Fi接続の確立 (seca 336 i)」を参照)

## 8.3 乾電池の交換



6本の単三乾電池 (1.5 V) が必要です。電源供給は、以下の手順に従ってください：

1. 電池収納スペースを開きます。
2. 消耗した電池を電池収納スペースから取り出します。
3. 新品の電池を電池収納スペースにセットします。

### 注意事項：

電池の+/-極を正しくセットしてください (電池の留め金のマーキングに注意)。ディスプレイに**bAtt**と表示されたら、いずれかの乾電池の極が逆か、乾電池が空です。乾電池を逆にセットした場合は、すぐに取り外すこと。

4. 電池収納スペースを閉じます。

## 9. メンテナンス/再検定

### 9.1 メンテナンスおよび検定についての情報

体重計を検定する前に、メンテナンスを行うことを推奨します。



#### 注意！

#### 不適切なメンテナンスによる誤測定

- メンテナンスおよび修理は、必ず seca サービスまたは正規のサービス担当者にご依頼ください。
- 最寄のサービス担当者は、[www.seca.com](http://www.seca.com) でお探しくささい。あるいは [info@seca.co.jp](mailto:info@seca.co.jp) にメールしてください。

各国の法的規定に基づき検定は有資格者に依頼し、実施してください。

1つもしくは複数の安全マークが損傷している、もしくは度量衡メーター内容が有効な度量衡メーター標と一致していない場合には、その都度、検定が必要になります。安全標に傷が付いている場合、seca サービスに直にご連絡ください。

## 9.2 度量衡メーター内容を検証する

この seca の体重計は検定を受けています。検定は、資格を有する機関の手によってのみ実施されます。これを確実にを行うために、この体重計は度量衡メーターを備えています。メーターは検定技術関連のデータの変更をすべて記録します。

この体重計が規定通りの検定を受けているかを確認したいときには、次のように行ってください。

1. 製品があれば体重計をオフにします。
2. 任意のボタンを押し続け、体重計をスタートさせます。  
ディスプレイに数秒間、現在の度量衡メーター内容が点滅します。
3. 提示された度量衡メーター内容を度量衡メーター標に登録された数値と比較します。




度量衡の検定が有効であるためには、両方の数値が一致している必要があります。標識とメーターの数値が一致していない場合には、再検定を行ってください。サービス担当者または seca サービスにお問い合わせください。再検定が実施された場合、新しい、更新された度量衡メーター標が度量衡メーター状態の標識に使用されます。この標識は、再検定を実施する有資格者によって追加スタンプによって固定されます。この度量衡メーター標は、seca サービスから入手できます。

## 10. 技術データ

### 10.1 一般的な技術データ

一般的な技術データ	
外形寸法 ・ 奥行 ・ 幅 ・ 高さ	308 mm 650 mm 110 mm
自重量 ・ 体重計、身長計なし ・ 体重計、デジタルメジャーロッドユニット seca 234 あり ・ 体重計、アナログメジャーロッドユニット seca 232 n あり	約3.7 kg 約5.2 kg 約5 kg
運転時の環境条件 ・ 温度 ・ 気圧 ・ 湿度	+10 ° C ~ +40 ° C / +50 ° F ~ 104 ° F 700 ~ 1060 hPa 30 % ~ 80 % で結露しないこと
保管時の環境条件 ・ 温度 ・ 気圧 ・ 湿度	-10 ° C ~ +65 ° C / +14 ° F ~ 149 ° F 700 ~ 1060 hPa 0 % ~ 95 % で結露しないこと
輸送時の環境条件 ・ 温度 ・ 気圧 ・ 湿度	-10 ° C ~ +65 ° C / +14 ° F ~ 149 ° F 700 ~ 1060 hPa 0 % ~ 95 % で結露しないこと
表示文字サイズ	20 mm



一般的な技術データ	
電源供給 ・ 乾電池 - 電源電圧 - 乾電池タイプ ・ ACアダプター (モデルごとに異なる) - 電源電圧 - 最大消費電力 - 保護絶縁された製品、保護等級II (EN 60601-1)	9 V 6 x 単三乾電池、1.5 V  12 V 代表値500 mA ☐
電源電圧	100 V~240 V
電源周波数	50 Hz~60 Hz
USBモジュール (モデルごとに異なる) ・ スキャナー消費電力	最大500 mA
消費電力 ・ 身長計なし、Wi-Fi機能なし、USBポートなし、バックライトなし ・ デジタルメジャーロッドユニット <b>seca 234</b> あり、Wi-Fi機能オン、USBポート使用、バックライト常時点灯 (明るさ: 100%)	26 mA  240 mA
乾電池を使った運転時の最長運用時間 ・ Wi-Fi機能なし、USBポートなし、バックライトなし ・ Wi-Fi機能オン、USBポート使用	約60時間 ACアダプターの使用を推奨
指令 (93/42/EEC) に準拠した医療機器 (ヨーロッパ国内のみ)	測定機能付きのクラスI
EN 60 601-1 : ・ タイプBの電子医療機器(ヨーロッパ国内のみ) :	
保護等級	IP20
運転方式	継続運用
ポート (モデルごとに異なる) : ・ バーコードスキャナー ・ ソフトウェア <b>seca connect 103</b> および電子カルテシステム	USB 2.0 Wi-Fi (IEEE 802.11b/g/n/e/i)

## 10.2 計量技術データ

計量技術データ	
指令2014/31/EUに準拠した検定	クラスIII
精度等級 (日本)	3級
型式認証番号 (日本)	D194号
最大測定重量 ・ 部分体重測定範囲1 ・ 部分体重測定範囲2	10 kg 20 kg
最小荷重	100 g
目盛り ・ 部分体重測定範囲1 : 0 kg~10 kg ・ 部分体重測定範囲2 : 10 kg~20 kg	5 g 10 g
風袋範囲	10 kg
初回検定時の精度 ・ 部分体重測定範囲1 : 0.0 kg~2.5 kg ・ 部分体重測定範囲1 : 2.5 kg~10 kg ・ 部分体重測定範囲2 : 10 kg~20 kg	± 2.5 g ± 5 g ± 10 g

### 10.3 技術データ、身長測定

測定技術上のデータ、身長測定	
デジタルメジャーロッドユニット <b>seca 234</b> - 測定範囲 - 目盛り  - 精度	35 - 80 cm 1 mm (ディスプレイの目盛りは設定可能：1 mm、5 mm、10 mm) ± 5 mm
アナログメジャーロッドユニット <b>seca 232 n</b> - 測定範囲 - 目盛り - 精度	35 - 80 cm 1 mm ± 5 mm

### 11. オプションの別売品 (SECA 336)

アクセサリ	商品番号
電源供給： ・スイッチモード、ACアダプター： 100~240 V~/50~60 Hz、12 V=/0.5 A	68 32 10 270
身長計： ・アナログメジャーロッドユニット <b>seca 232 n</b> (cmバリエーション) ・デジタルメジャーロッドユニット <b>seca 234</b> (cmバリエーション)	232 1717 008 234 1717 009
ベビースケール用キャリングバッグ <b>seca 428</b>	428 0000 004

### 12. オプションの別売品 (SECA 336 i)

アクセサリ	商品番号
身長計： ・アナログメジャーロッドユニット <b>seca 232 n</b> (cmバリエーション) ・デジタルメジャーロッドユニット <b>seca 234</b> (cmバリエーション)	232 1717 008 234 1717 009
ソフトウェア： ・ <b>seca connect 103</b>	電子カルテ連動の枠組みで提供されます
バーコードスキャナー (医療機器)	推奨製品に関しては <b>seca connect 103</b> の取扱説明書を参照してください
ベビースケール用キャリングバッグ <b>seca 428</b>	428 0000 004

### 13. 交換部品 (SECA 336 i)

交換部品	商品番号
電源供給： ・スイッチモード、ACアダプター： 100~240 V~/50~60 Hz、12 V=/0.5 A	68 32 10 270

### 14. 廃棄処分

#### 14.1 製品の廃棄処分



この製品は家庭ゴミで廃棄しないでください。この製品は、電子機器廃棄物として適切に廃棄してください。各国の規定を遵守してください。その他の情報は、こちらにお問い合わせください。

info@seca.co.jp

## 14.2 乾電池の廃棄処分



使用済みの乾電池および充電電池は、それが有害物質を含んでいるか否かに関わらず、家庭ゴミに捨てないでください。使用者には消費者として、乾電池や充電電池を地域の収集場所や販売業者の収集場所を通じて廃棄する法律で定められた義務があります。乾電池や充電電池は、必ず完全に放電した状態で引き渡してください。

## 15. 保証について

資材や製造時の不具合が原因とされる欠陥については、納品日より1年間の保証期間が適用されます。ただし、電池（充電電池）、ケーブル、ACアダプター、といった可動部品はすべて保証対象外となります。保証の対象となる不具合は、ご購入時の領収書を提示していただければ無償で修理いたします。保証書が保証している範囲以外は保証の対象にはなりません。本製品が国外にある場合、往復の運送費はお客様のご負担になります。運搬中の損害で保証を請求することができるのは、運搬に純正の梱包材一式を使用し、その梱包内で本製品が発送時と同じ梱包状態で保護され、固定されていた場合のみです。そのため、すべての梱包材を保管しておいてください。

seca 社テクニカルスタッフでない人が本製品を開けた場合、保証は失効します。

保証請求の際は、お近くの seca 支店または製品をお買い上げいただいた販売代理店までご連絡ください。

## 16. 適合宣言書

これにより seca gmbh & co. kg は、本製品が、適用される欧州指令および規則の諸規定に準拠していることを宣言します。適合宣言書の全文は：[www.seca.com](http://www.seca.com) をご覧ください。

# Medical Measuring Systems and Scales since 1840

seca gmbh & co. kg  
Hammer Steindamm 3–25  
22089 Hamburg · Germany  
Telephone +49 40 20 00 00 0  
Fax +49 40 20 00 00 50  
info@seca.com

seca operates worldwide with headquarters  
in Germany and branches in:

seca france  
seca united kingdom  
seca north america  
seca schweiz  
seca zhong guo  
seca nihon  
seca mexico  
seca austria  
seca polska  
seca middle east  
seca brasil  
seca suomi  
seca américa latina  
seca asia pacific  
seca danmark  
seca benelux  
seca lietuva

and with exclusive partners in  
more than 110 countries.

All contact data at [seca.com](http://seca.com)